

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。

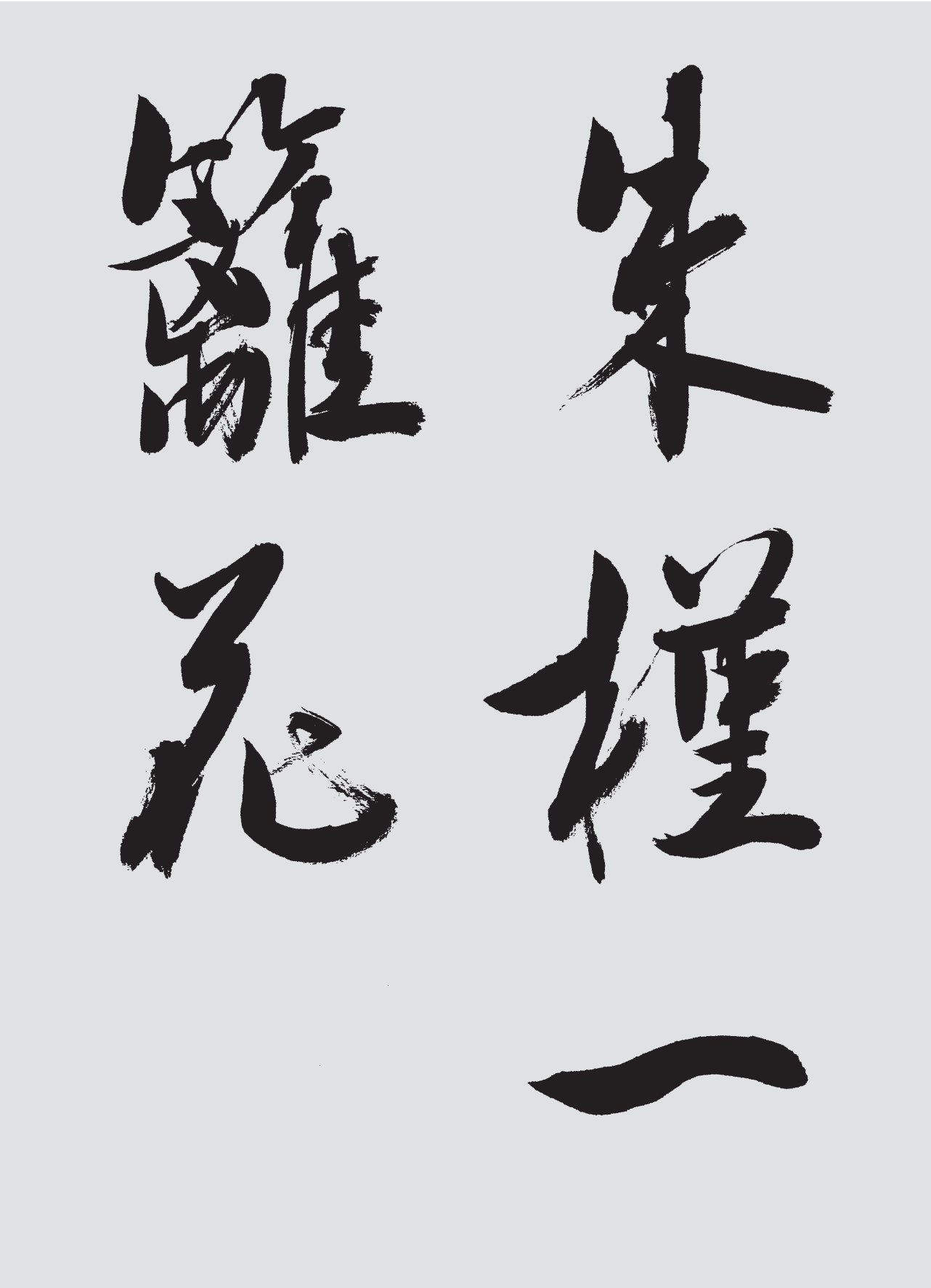
野 里
色 色
橋 春
柳

野色柳橋の春
やしほのりゅうきょうのはる

成瀬映山先生

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



朱槿しゅぎんいちり一籬いちりのはな花

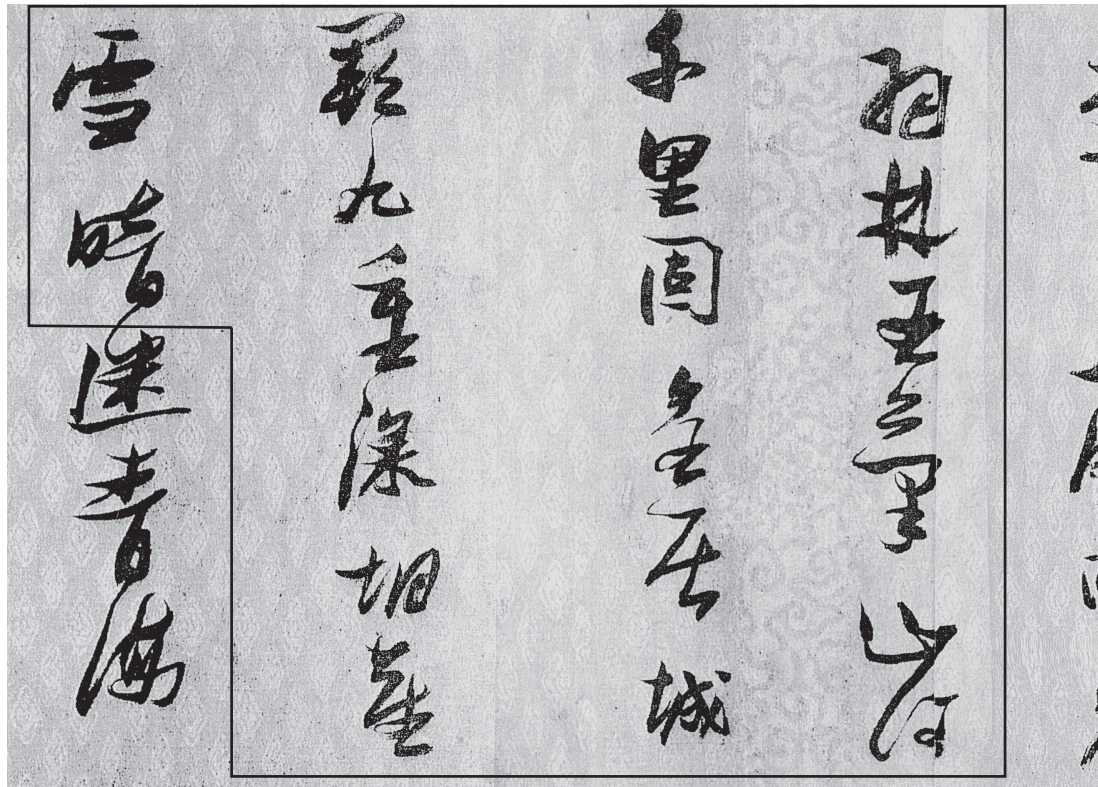
高木聖雨先生

条幅規定

A部 (準五段以上)

B部 (四段～準三段)

九重深き胡塵
雪暗く迷青海



ちようずいと
張瑞図 (明) 『感遼事作六首卷』⑩

羽林王氣山河

千里固皇居城

闕九重深胡塵

雪暗 (迷青海)

羽林を (見る) 王氣 山河

千里固く 皇居 城闕

九重深し 胡塵

雪暗く 青海に迷い

近衛兵の姿が見える。

天子の山河は千里も堅固、

皇居の城門は深く九重の奥に。

胡の塵は雪まで暗くし青海はどのあたり、

【今月の課題】

「羽林王氣山河千里固皇居城闕九重深胡塵雪暗」(20字)

〔この課題を同月の条幅随意には出品出来ません〕

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く
段・級を記入してください

(3月10日締切)

条幅規定

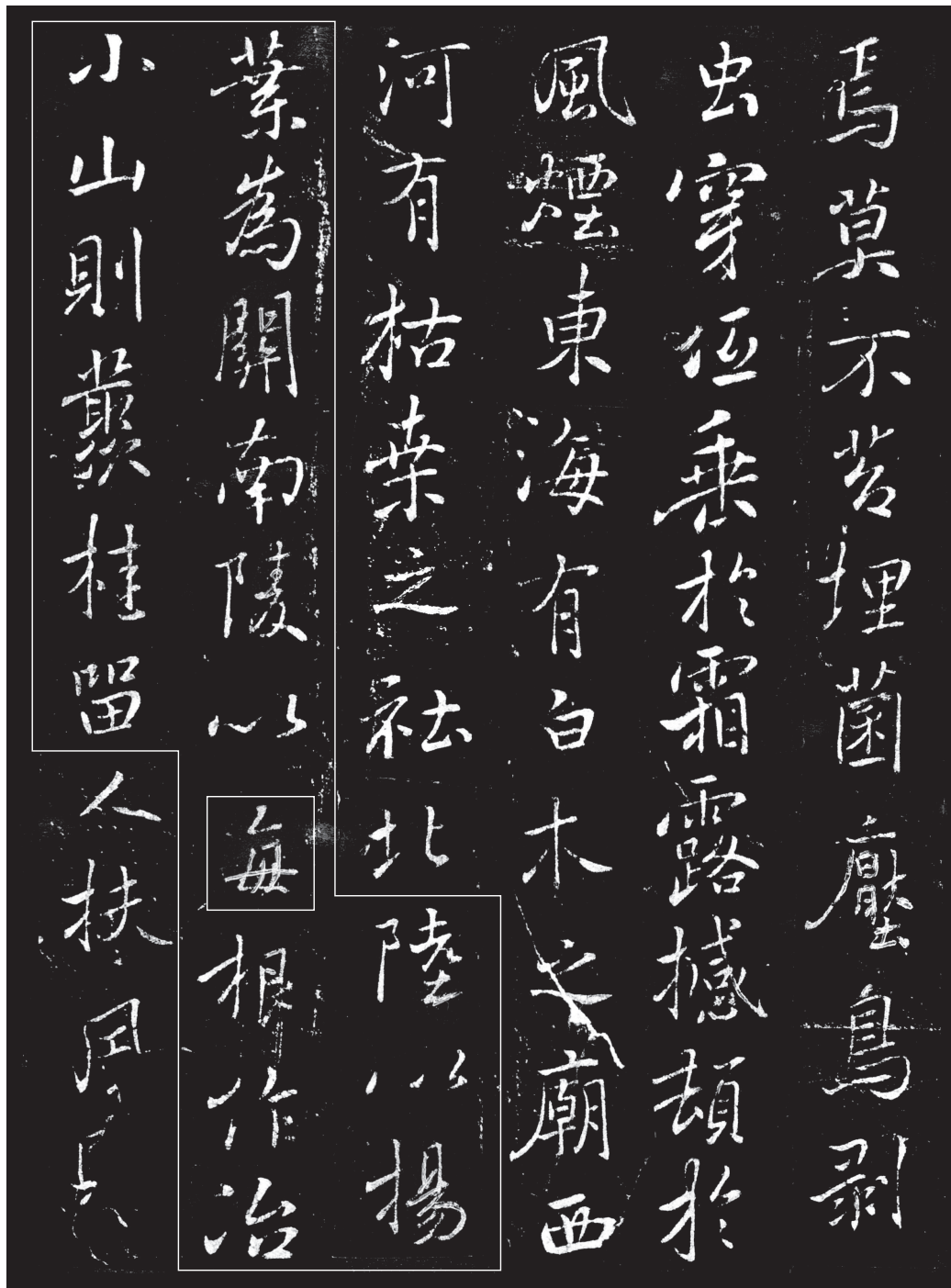
C部 (二段以下)

『枯樹賦』

褚遂良

(唐)

⑮



焉。莫不苔埋菌壓。鳥剝

虫穿。低垂於霜露。撼頓於

風煙。東海有白木之廟。西

河有枯桑之社。北陸以楊

葉為關。南陵以梅根作治。

小山則叢桂留人。扶風是

焉これに(座す)苔埋こけうすめ菌壓きんあつし、

鳥はの剝はぎ虫うがの穿うがち、霜露つゆに低垂ていすい

し、風煙かんでんに撼頓かんどんせざる莫なし。東

海はくぼくには白木びやくの廟びやう有り、西河せいがには

枯桑こそうの社やしろ有り。北陸ほくりくには楊葉やうを

以かんて関かんと為なし、南陵なんりやうには梅根ばいこんを

以やて治なと作なす。小山しょうざんは則すなはち叢桂そうけい

に人ひとを留とどめ、扶風ふふうは則すなはち

【今月の課題】「陸以楊葉爲關南陵以梅根作治小山則叢桂留」(18字)

※□は欠字

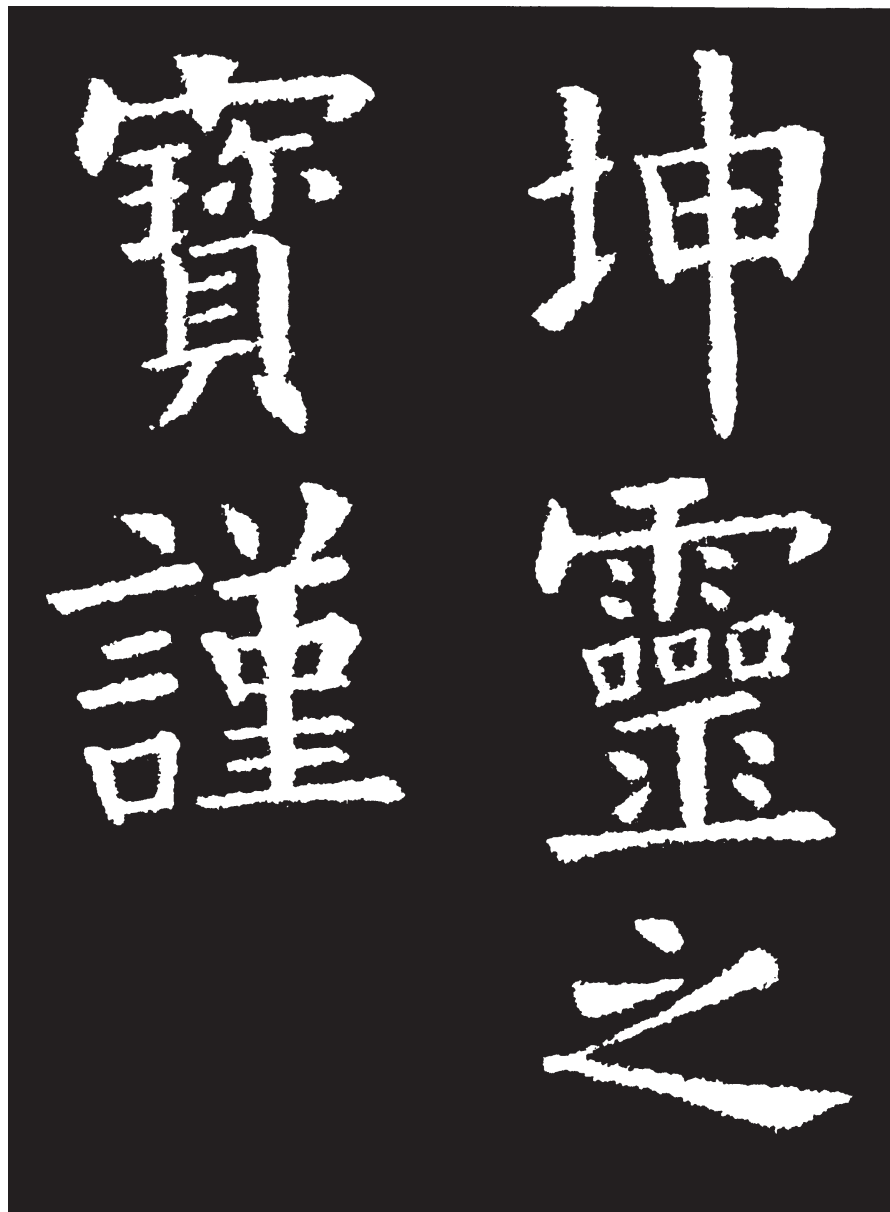
【この課題を同月の条幅随意には出品出来ません】

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

(3月10日締切)

半紙規定 (二)

※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書
〔二級以下〕楷書



九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)

坤靈之寶謹

坤・靈の宝たり。謹んで

半紙規定 (一)

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。



曹全碑 (漢・作者不詳)

年十月丙辰造

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕
(3月10日締切)

【今月は6文字です】

条幅参考手本

白鹿昔成羣 鹿去誰復來
 樵子暮行下 洞中雲自開

渡邊南嶂先生

白鹿昔成羣 鹿去誰復來 樵子暮行下 洞中雲自開
 白鹿昔群を成す 鹿去つて誰か復来らん 樵子暮れに行き下る 洞中雲自ずから開く

鈴木 翡翠 恵 先生

雲勢移峰緩 泉聲出竹遲
 此時無限意 唯有翠禽知

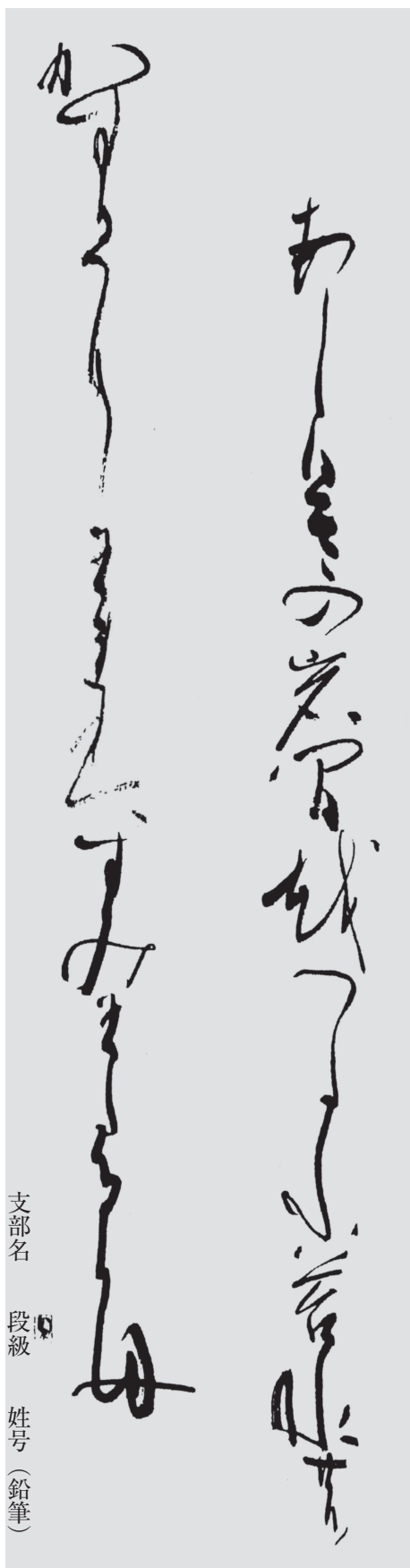
雲勢移峰緩 泉聲出竹遲 此時無限意 唯有翠禽知
 雲勢峰を移りて緩かに 泉声竹を出でて遅し この時限り無きの意 ただ翠禽の知るあるのみ

条幅かな

条幅参考手本

あしひきの岩間をつたふ苔水のかすかにわれはすみわたるかも (良寛)
日 越 多 農 可耳 王 連 盤 王 多 可母

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左下部に添え書きして下さい。



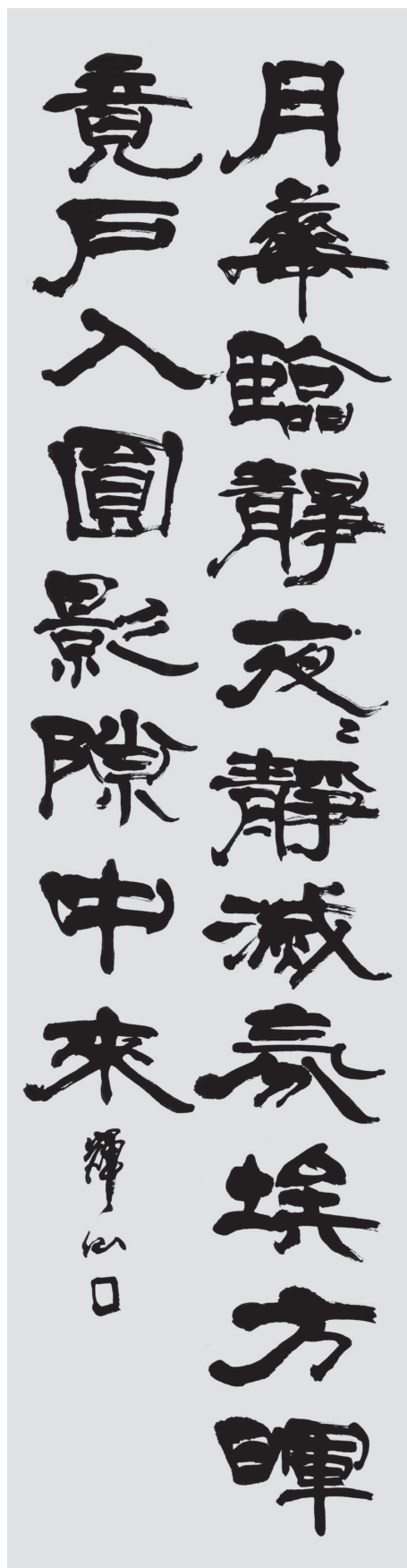
支部名

段級

姓号 (鉛筆)

浮 乘 清 郷 先 生

月華臨靜夜 夜靜滅氛埃 方暉竟戸入 圓影隙中來
 月華は靜夜に臨み 夜靜かにして氛埃滅 方暉は戸を竟めて入り 円影は隙中より來たる



石 田 輝 仙 先 生

(3月10日締切)

半紙かな（1級以下）

玉たまの如ごとき小春こはる日和びよりを授さづかりし（松本たかし）

小春日和
玉の如き

支部名 級 姓 号 (鉛筆)

※ちらし文字変換は自由

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

半紙かな（初段以上）

名にし負なまはばいざ言こと問とはむ都鳥みやどりわが思おもふ人はありやなしやと（在原業平）

名にし負はばいざ言問はむ都鳥わが思ふ人はありやなしやと

支部名 段 姓 号 (鉛筆)

小林素水先生

※ちらし文字変換は自由

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

(3月10日締切)

浮乗清郷先生

実 用 文

※準三段以上…行書を草書に変換は自由

〈書風任意〉

互法と金石書法、この二つが大きな
分水嶺は、歴史的な書道をよきと
分断するゆりて、これを意識する
だけでも技法を理解する…
支部 段級 姓 号

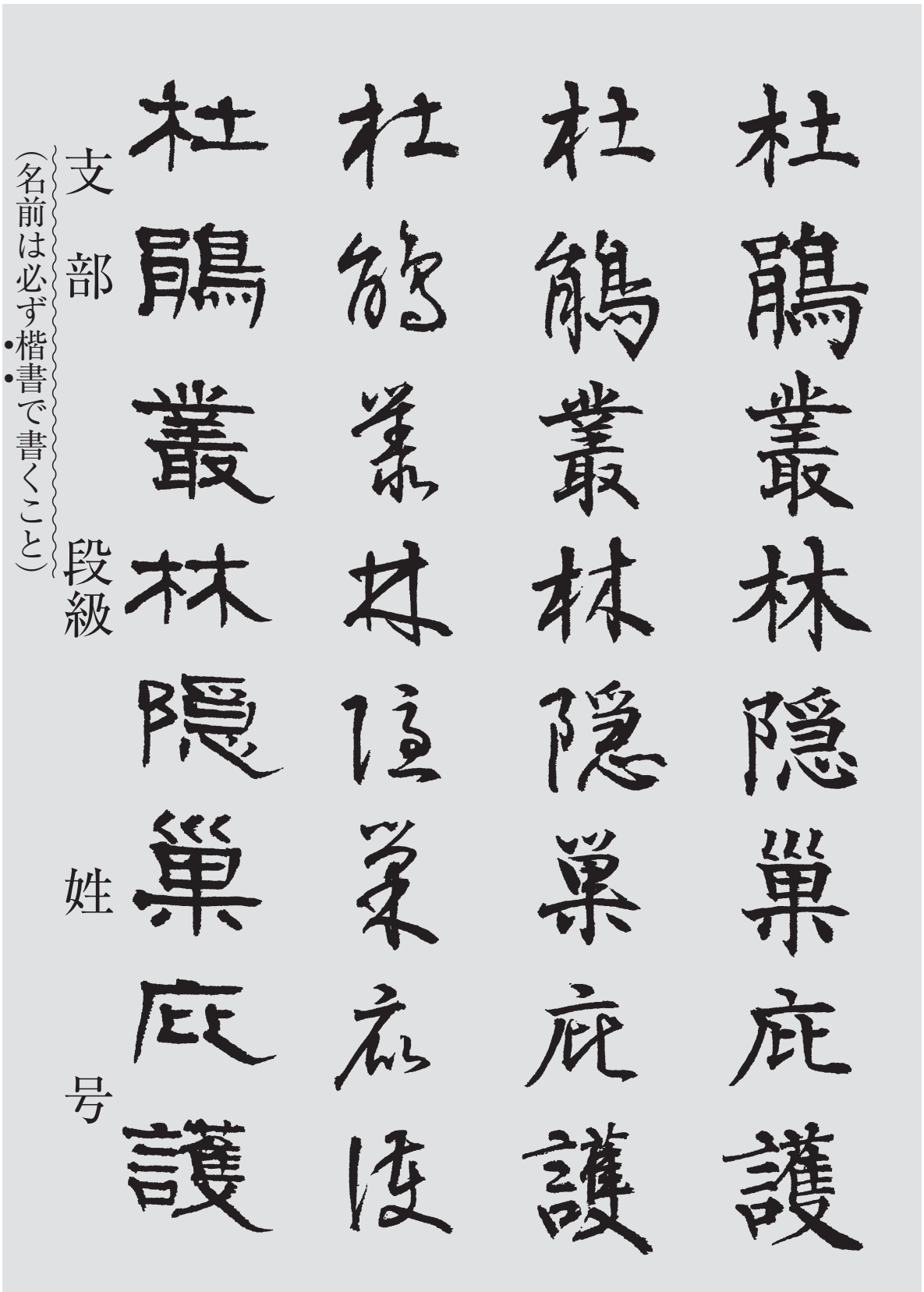
大井岳陵先生

(3月10日締切)

細 字

高須翠雲書「五體昭和千字文」より P20

主 幹 菅 野 翠 濤



支部
段級
姓号

(名前は必ず楷書で書くこと)

※一級〜八級は草書まで。 初段以上は隷書まで。 ※名前は楷書以外では違反になります。 17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

杜と 叢そう 鵑けん 林りん 隠いん 巢そう
 ほととぎす。 くさむら、はやし。 かくれた鳥の巢。

(3月10日締切)

硬筆（1級以下）

2行、楷書

常識にとらわれず、大胆に発想の
転換をしてみることも大切だ。
支部 級 姓 号

田 辺 翠 鶴 先 生

硬筆（初段以上）

3行、行草書

…風に冷たさ…春の到来…頃…。

立春とはいえ、まだまだ吹く風に
冷たさが残る昼夜に春の到来が
待ち遠しくいっみみです。
支部 名 姓 号

青 柳 江 雲 先 生

※本院定型用紙・たて半分に書く

（3月10日締切）

中2用

支
部
名
の
波
日
本
海

段
級

名
前

渡邊南嶂先生

中3用

支
部
名
神
秘
宇
宙
の

段
級

名
前

大越三宗先生

小6用

支
部
名
足
春

段
級

名
前
音
の

渡邊南嶂先生

中1用

支
部
名
の
雪
名
残
り

段
級

名
前

渡邊南嶂先生

(3月10日締切)

小4用



大越三宗先生

小5用



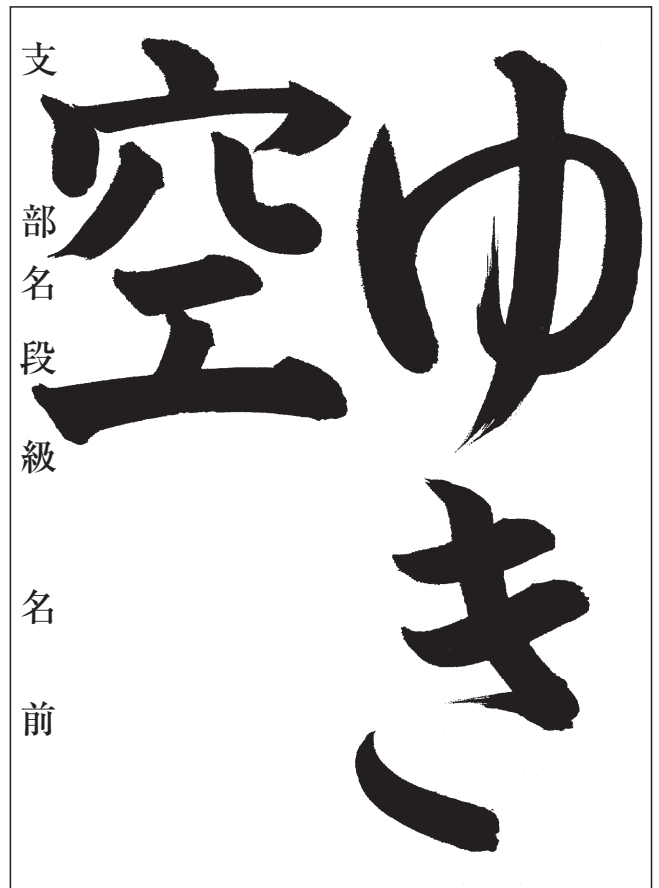
大越三宗先生

小2用



鈴木翡翠先生

小3用



鈴木翡翠先生

(3月10日締切)

中 1

三寒四温の頃、一雨ごとに春めいて来る。

中1~中3

中 2

人は経験をし、難しさに挑戦し、進歩する。

青柳江

中 3

時に応じ、正しく判断し、行動する姿勢を養う。

雲先生

小1・幼年用

れあ
ら

支部名

段級

名前

鈴木 恵先生

小1・幼年

おおぞらに、たこがあがっていきます。

小1~小3

小 2

かえるや、へびは、まだ土の中にいます。

齋藤 翡翠

小 3

春に入ってもまだ風はひんやりとつめたい。

流先生

小 4

春には、野にも山にも木のめが出てくる。

小4~小6

小 5

寒くても、まどを開け、空気を入れかえよう。

鈴木 蕙

小 6

勉強は、自分からやるうとする意志が大切。

翠先生

(3月10日締切)

小学部小筆課題

中学部かな課題

支部名 段級 名前

雪どけ
春近し

主幹 菅野翠濤

支部名 段級 名前

雪の深さをたづね
いくつびも

船久保 棠苑先生

※半紙半分に書いて下さい。 (3月10日締切) ※半紙半分に書いて下さい。

4月10日締切課題予告

A B部条幅規定 迷青海武庫苔生臥緑沈倉卒魚書徴俠少諸公

C部条幅規定 人扶風則長鬆繫馬豈獨城臨細柳之上塞落桃林之下

かな条幅規定 花ちりてころやすかる姿ともけふよりなりぬにはのさくらば(大隈言道)

半紙規定(初段以上) 君諱全字景 半紙規定(二級以下) 案禮緯云王

半紙かな(初段以上) いま桜咲きぬと見えてうすぐもり春に霞める世のけしきかな(式子内親王)

半紙かな(二級以下) 咲き出するや桜さくらと咲きつらなり(荻原井泉水)

4月10日締切学生部課題予告

新中三規定 花咲く校庭 新中三硬筆 桜が咲く日を線で結んだものを桜前線と呼ぶ。

新中二規定 春を呼ぶ雨 新中二硬筆 健康は、自分自身に贈れる最高のプレゼント。

新中一規定 入学の喜び 新中一硬筆 ペン字も毛筆も、線の美しさの追求が大切。

新小六規定 学校の庭 新小六硬筆 毎年、春になると家族で花見に行きました。

新小五規定 晴れた空 新小五硬筆 雪が残る早春の山を絵にかいてみました。

新小四規定 美しい花 新小四硬筆 春になり、うぐいすが庭で鳴きはじめます。

新小三規定 白くま 新小三硬筆 春になったので風があたたかくなってきました。

新小二規定 マイク 新小二硬筆 白いスイセンがさいた。とてもきれいだ。

新小一規定 とり 新小一硬筆 さくらのつぼみがふくらみました。

新小学部小筆 花かおる 庭の池 新中学部かな 高なみの 上にえがくや 春の月